

## 平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉原小学校 会長名 磯部 裕正

---

平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

成人教育部：①P T A新聞の発行②三校合同講演会③P T Aのつどい参加

生活指導部：①愛の一声運動②「かけこみ110番の家」との連携③生活安全標語の募集と立て看板の設置④全体夏休み巡回パトロール⑤特別パトロール⑥校区内パトロール⑦不審者出沒に伴うパトロール

環境整備部：①古紙回収②夏休み奉仕作業③校内美化活動④古紙ボックス周知

体育保健部：①P T Aスポーツ②三校合同球技大会③運動会における安全管理の徹底

家庭教育部：①ベルマーク運動②給食試食会③親子学習会④会報「あすなろ」発行⑤市P連家庭教育委員会参加

取り組みの効果

1. ① 2. 無(なぜ効果がでなかったのかを-反省点-に記入)

—具体的な効果—

生活指導部： あいさつが子どもたちの習慣になってきている。自然にあいさつができる子どもが増えているように見られる。

環境整備部： P T Aだけでなく、地域の方にも昨年度以上に古紙ボックスの存在が認知され、回収量が増えた。

親子奉仕作業では、活動場所が一目で分かるように校内地図を活用して作業分担図を作成することで、スムーズに作業を開始することができた。

家庭教育部： 活動形態を学校での活動と家庭での活動と分けて行い、これまで1か月1回から2か月に1回となったが、例年以上にベルマークの点数が集まった。効率のよく活動を行うことができ、評議員の負担も軽減された。

—反省点—

環境整備部： 校内美化活動の実施日が、地区の行事と重なってしまい、参加人数が減少した。

家庭教育部： 家庭で活動している方のベルマークが回収日までに提出されず、次回までそのままになってしまうことがあった。

—改善案—

環境整備部： 地区行事日程を確認し、部の事業と重ならないように日程調節を行う。

家庭教育部： 連絡網連絡を増やすなど、評議員との連絡方法のあり方を見直す。

## 平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立今泉小学校

会長名 秋山 美幸

---

平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

成人教育部…年間3回の新聞「いずみ」の発行

P T Aのつどいでの学校紹介パネルの作成

生活指導部…交通指導、あいさつ運動「ふれあいの日」実施

「かけこみ110番」宅の確認と看板の取り替え、地図の修正

家庭教育部…1年生保護者対象、給食参観および試食会

親子レクレーション「親子みそづくり教室」の実施

持久走大会での飴の配布

卒業生に贈るコサージュの準備

環境整備部…年間2回の親子奉仕作業と古紙アルミ缶回収の実施

体育保健部…運動会への協力

親子レクレーション「今小ナイトウォーク」の実施

取り組みの効果

1. ①
2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

・年2回の親子奉仕作業では、各町内で前期、後期に当番を決めて多くの親子が参加してくれました。作業場所も町内ごとに割り当てしてまんべんなく作業できるようにしています

・P T Aの看板行事となった「今小ナイトウォーク」は今年で3回目を迎えました。参加人数は712名。順番待ちの間に、子供達にフェイスペイントなどをして好評でした

—反省点—

・奉仕作業の作業場所の見直し→先生が担当してくれている学校周りの側溝が夏休み明けは草の量が想像以上に多く、最後は役員総出で時間オーバーでの作業となったので、次回は状況を見て人数の割り当てをしたい。

—改善案—

・学校図書室の棚が劣化しているので、奉仕作業などの機会に日曜大工で修繕ができないか検討したい

・3校合同事業でのイベント参加率が低いので、参加したいと思える企画をしたい

## 平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立伝法小学校 会長名 石川 慎也

---

平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

◎PTA 活動目標テーマ『縁』～人のつながりが地域をつなげる～

- ・PTA 活動目標テーマをもとに、各部ごとにテーマを立て、その目的・目標の達成に向けて活動を行なった。
- ・活動計画をもとに、各事業の実施に向けて、専門部会や総務会等で計画の検討や準備を十分に行い、充実した活動になるように取り組んだ。

取り組みの効果

1. 有 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

- ・各部ごとの活動では、今年度の PTA 活動目標と各部のテーマをもとに「この事業をなぜ実施するのか」、それにより「どんな成果が出るのか」を考え、目的をもって活動を進めるよう、一丸となって取り組んだ。それにより、各部員の皆様が力を発揮し、各活動が主体的で充実したものとなった。
- ・通常は各部ごとに分かれて活動することが基本であるが、他の部と連携協働する場面も多く、お互いにサポート等を積極的に行なっていたため、所属以外の活動についても理解が深まり、多くの総務会役員に積極的に参加していただいた。

—反省点—

- ・PTA 会員全体で実施する活動(奉仕作業等)には多くの保護者が積極的に参加していただけるが、総務会役員の募集を行うと、良い返事を返していただける方はごく少数になってしまう。「総務会=忙しい」と考えがちではあるが、取り組むことでのメリットややりがい等、良い情報をさらに広報・周知して、積極的に参加できる環境を作り出していきたい。また、これからも効果的な役員募集・選出方法等を検討するとともに、確実な引継ぎを行なっていきたい。

—改善案—

# 平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立神戸小学校 会長名 原田 繁

---

## 平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

### ○P T A活動

リサイクル活動、親子奉仕活動、親子ふれあいスポーツ大会、安全パトロール  
給食試食会、プール監視、運動会、持久走大会

### ○神戸地区各種団体行事

三世代交流

グランドゴルフ大会、カップスタッキング大会

神戸地区夏祭り、体育祭、文化祭、防犯パトロール

※上記活動における会員及び神戸小学校とのコミュニケーション、また、PTA  
活動を通じて、地区のコミュニケーションを図ることができた。

## 取り組みの効果

### 1 有り

#### 具体的な効果

- ・各活動において、多くの先生方が、多くの行事に参加していただいたことにより、気軽に話ができる関係になった。もちろん、活動に参加する保護者も同様に感じる。
- ・様々な活動に参加することで、また、共通の目的を達成することで、親密感が高くなると感じた。地域の各種団体会長をはじめ各役員さんとも同じことが言える。これからのこの地域を担う子らを育てていくには、また、地域防災、防犯の視点からも有意義な活動でした。
- ・今年、他校区、全国的に先生方のトラブルが発生する中、本校の先生は、上記活動、行事に多くの、また、多人数で参加し、積極的に、真摯に協力してくださったことは、本当にありがたく、頭が下がる思いです。そのような先生方の背中を見ることで、子どもたちはもちろん、保護者にも先生方への感謝、親愛、尊敬の気持ちが芽生え、大きくなっています。  
各活動、行事への企画、準備、片付けなど、裏方仕事を役員が一部対応したことで、先生方の負担も軽減できたと思います。

#### 反省点

- ・各行事へもっと多くの方に新しい顔ぶれの参加を促したい。
- ・昨年より、事前声掛けが功を制し、再募集などがなかったことは、役員さんの活躍と学校からのPRによるものです。
- ・PTA活動により、子どもたちが、どのように感じているのか、何が子どもたちに影響しているのか伝わっているのか、活動が見えるものになっていない気がする。

#### 改善点

- ・広報への工夫、活動内容の展開、案内
- ・PTA活動への子どもたちへの貢献具合が見える化
- ・リアルな壁新聞（親子奉仕作業風景、頑張っている子ども、保護者、先生方の姿、ビフォー&アフター）

- ・現在会長職は、顧問として在籍しても、各会議に参加していない。来年度は参加メンバーの一員として、より活発になるように、サイクリックな活動への取り組みとは別に新しいアイテムへの変換を考慮し、PTA 活動をより活性化し、子どもたちに、頑張る大人の背中を見せてあげたい。

—改善案—

## 平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 元吉原小学校

会長名 新舟 武夫

---

平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・成人教育部：PTA だより・松籟発行、スマホ・ケータイ教室
- ・体育保健部：運動会、小中合同レクリエーション、救急蘇生講習会
- ・環境整備部：古紙アルミ缶回収、夏季 PTA 奉仕作業
- ・生活指導部：交通安全教室、見回りパトロール、交通安全指導と挨拶運動
- ・家庭教育委員：給食試食会、地域文化祭、卒業式のコサージュ作り

※「PTA 役員、部員が各行事に全員で協力して参加しよう」をモットーに取り組んできた。

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

いろいろな行事に、役員、部員が協力して参加し、活動ができた。

- ・運動会の準備では、体育部員だけでなく、他の PTA 部員も参加してくれた。  
また、運動会の片付けには、PTA 部員ではない保護者の方々にも手伝っていただいた。
- ・PTA のつどいに出品する PTA 活動報告新聞では、今までは個人が作成していたが、成人教育部の部員のみなさんが協力して作成してくれた。
- ・古紙・アルミ缶回収や奉仕作業、交通安全教室もたくさんの保護者に参加、協力をしていただいた。

－反省点－

- ・活動の中で、段取りの不備があり、終了時刻が遅くなってしまったことがあり、参加者のみなさんにご迷惑をおかけしてしまった。

－改善案－

## 平成29年度 P T A 活動最終報告

学校名 富士市立東小学校 会長名 長澤 祥幸

---

### 平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ P T A活動の様々な場面で、準備や片付けを、担当の部だけでなくすべての役員部員がみんな協力して行い、達成感のある活動ができた。
- ・ 環境整備活動での、古紙回収・アルミ缶回収の時間を短縮して効率よく行えるようにした。

### 取り組みの効果

1. ④ 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

#### ー具体的な効果ー

- ・ 体育祭の片付け、環境整備活動の準備片付け等、役員部員が担当の係にとらわれず、みんな協力して行い、どの P T A活動も気持ちよく行われた。
- ・ 環境整備活動での回収時間をあらかじめ、古紙回収は30分、アルミ缶回収の時間は15分としてお知らせしておき、短い時間で効率よく回収することができた。

#### ー反省点ー

- ・ 環境整備活動では、みなさんよく働いてくださっているものの世帯数の減少により作業が多く大変な面がある。

#### ー改善案ー

- ・ 地域の方々が学校にたいへん協力的である。9月の終わりに行われる体育祭は地区との合同開催なので、夏休み明けの環境整備活動は、地域に広く呼びかけをして、地域の方々と協力して行っている。
- ・ 広い畑の使い方を見直し、地域の方への草取り等の協力を呼びかけていく。

## 平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立須津小学校 会長名 石田 幸樹

### 平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

P T A活動をより活動しやすく、又関心を持っていただけるように、今年度は各部の活動を行いながら随時見直しを行い、次年度のP T A活動の体制を改めて整える。

### 取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

#### －具体的な効果－

平成29年度の活動は、平成30年度のP T A活動をより充実した内容とするため、次年度を見据えて活動を行った。各部の役員は、平成29年度のP T A活動の中での反省や次年度の実施方法を話し合いながら、最終的に本部役員会で検討し、学校とも協議を行い、平成30年度の各部の活動をより良い形にすることができた。

#### －反省点－

各部の行事によって参加者が多かたり少なかりして、各部の部長の負担が大きく、自分の担当行事だけでなく本部役員全体でもう少し協力できればよかった。

#### －改善案－

学校側の負担、役員の負担を考慮しながら子どもや保護者にとって、より良いP T A活動が行われるように、毎年P T A活動の中身を見直し、時代に合わせた活動が行えるように改善していくための会議を年に1回以上設ける。



## 平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 吉永第一小学校

会長名 小塚 敏治

平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

- A. 穆清新聞発行・壁新聞作成
- B. 応急救護講習会・親子ふれあいレクリエーション
- C. 古紙回収・環境整備作業
- D. 交通安全旗振り・児童交通安全標語選考、掲示
- E. 本の読み聞かせ・給食試食会

取り組みの効果

1. (有) 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

- A. P T Aの取り組みを知ってもらうことができた。  
壁新聞のテーマを事前に複数考えることで、段取り良くテーマを決めることができた。
- B. 応急救護講習会は、非常にためになった。  
本年度は、児童も参加をし一緒に講習を受けることができ、有意義な時間になった。  
親子ふれあいレクリエーションは、親子でふれあうことができよかった。児童の参加も増えた。
- C. 古紙回収・環境整備作業  
環境整備作業では、前もって役割分担を決めてあったので、スムーズに作業ができ、早く終わることができた。  
古紙回収で得た収益金で、子供たちのために必要なものを購入することができた。
- D. 児童交通安全標語を募集し、優秀賞を選考した。ほとんどの児童が参加し、交通安全について考えてもらう機会となった。
- E. 本の読み聞かせ・給食試食会  
朝の時間の読み聞かせは、毎回子供たちに喜んでもらうことができた。  
大型絵本を取り入れ、楽しんでもらうことができた。  
給食試食会は、講演がわかりやすく、富士市の学校給食のすばらしさや和食のすばらしさ、朝食の大切さを見直す機会となった。

—反省点—

- A. 壁新聞作成に時間がかかった。
- B. 応急救護講習会は、もっと児童にも見学してもらおう場としていきたい。
- C. 環境整備作業では、当日参加されなかった人がいて作業がうまく進まないところがあった。人数配分など、臨機応変に対応したい。
- D. 6年生が行った交通安全を語る会は良いものだったので、参加者を増やす工夫をしたい。
- E. 本の読み聞かせができるボランティアの人を増やしていきたい。

—改善案—

- A. 引き継ぎ資料を作成し、1年間を見通した活動がわかるようにする。そして、計画的に活動ができるようにしていく。
- C. 環境整備作業では、参加人数を増やすために地域行事を把握し、日程を変更するなど工夫をしたい。

## 平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉永第二小学校 会長名 勝間田 育代

### 平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ①年3回の朝のあいさつ運動（学校正門にて）
- ②P T Aリサイクル活動（年3回の古紙回収）
- ③P T A親子クリーン作戦（親子奉仕作業）
- ④P T A誌「大樹55号」の作成
- ⑤運動会およびマラソン大会への協力
- ⑥交通安全教室（1年生・4年生）への協力・補助
- ⑦家族ぐるみ読書の推奨・年2回のP T A読み語りを実施
- ⑧自由プールの監視補助

### 取り組みの効果

- ①. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

#### —具体的な効果—

- ① 登校の様子を見守り、児童があいさつの声とともに1日が始まる生活リズムを構築できたので、効果的だった。
- ② 3回の活動で得られた収益金を、児童のために有効に活用することができた。
- ③ 普段は手が回らない清掃（木の剪定なども含む）を行うことができたので、学校全体をきれいにすることができた。
- ④ P T A誌「大樹」は、本校の伝統的な冊子となっているので、心待ちにしている家庭が多い。
- ⑤ 運動会の用具準備やテント設営、マラソン大会のコース監視など、教職員だけでは手が足りない部分を補うことができた。
- ⑥ 教職員だけでは手が足りない部分を補うことで、保護者と児童の交通安全に対する意識を高めることができた。
- ⑦ 活動後には、「親子で触れ合う時間を過ごすことができた。」「子どもが小さい頃に読んであげた本を、改めて読み聞かせていく中で、子どもの成長を感じた。」等の好意的な意見が多かった。
- ⑧ 教職員だけでなく保護者の方々が協力したため、安全管理面で目が行き届いた。

#### —反省点—

- ④ P T A誌「大樹」の制作にあたって、メールやフラッシュメモリでのデータのやり取りがセキュリティ上難しくなり、保護者作成ページの校正後の手直しの打ち合わせが煩雑になった。

#### —改善案—

- ④ ページ作成のひな型を作り、保護者からの文章や写真を準備してもらい、学校で作成するやり方にするなどの工夫が必要である。

## 平成29年度 PTA 活動最終報告

学校名 富士市立原田小学校 会長名 中西 正基

---

平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

○学校美化活動の2部共同開催の実施（平成29年9月実施）

- ・多くの参加者を募るため、1年1回の開催とし、校庭等の外回りの美化作業、校舎内の美化活動（トイレ・教室等）を実施。
- ・原田小学校にはPTA内部組織として5つの部で構成されているが、従来は環境整備部単独での開催であった。しかし、各部の人員減少に伴い、単独での運営に負担感が大きかったため、環境整備部と体育保健部の共同開催を実施。

○PTA バザーの開催

- ・日用品バザーに加え、学校行事で使用した用品（みどりの学校等で使用した用品）を販売。また、チョコバナナやあてくじ店を開催

取り組みの効果

1.  有 2.  無 （なぜ効果がでなかったのかを・反省点・に記入）

－具体的な効果－

（学校美化活動）

○子供達が学習している校庭外回りや校舎内を清掃することで、学校での生活環境について関心を持つことができた。

環境整備部と体育保健部の共同開催にすることで、限られたPTA役員で効率的に活動することができた。

（PTA バザー）

○日用品バザーと出店を体育館内で行い、より多くのPTA会員がバザーに参加することができた。

PTA活動に参加する機会を得たことで、PTA活動に対する理解を深めることができた。

－反省点－

（学校美化活動）

○共同開催のため、部内だけでなく、部間の連携が必要であり、役割分担を明確にし、また次回開催に向けて、引継ぎ資料を整備する必要がある。

（PTA バザー）

○1つの入口としていたため、児童と保護者が長い行列となり、速やかな誘導が出来なかった。

－改善案－

（学校美化活動）

○今回の反省を来年度に活かすため、引継ぎ書類を作成し、事前に学校側のニーズを確認した後、各部間の打ち合わせにて情報と役割分担を共有することで、学校美化活動の効果を高めていきたい。

また、学校美化活動が子供達の学校生活での安全確保と教育環境が充実していくことを会員にPRし、より多くのPTA会員に参加してもらえるように活動していきたい。

（PTA バザー）

○日用品販売の入場口と出店の入場口を個別に設け、子供達とPTA会員を安全に入場させ、充実度の高いPTAバザーの開催としたい。

# 平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 大淵第一小学校 会長名 古川 正紀

## 平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

### 【成人教育部】

- ・ P T A機関誌「ひろば」の発行(年2回) … P T A活動取材し、写真と記事を掲載
- ・ 3校合同 P T A教育講演会の実施(大淵中、大淵二小との合同講演会)

### 【生活指導部】

- ・ 登下校時の安全確認活動 … P T A総会・引き渡し訓練の際に旗振り講習会を行い、P T A会員全員が年3回ずつ当番制で登校の見守りを行った。
- ・ 地域の安全見守り…見守り110番の家の新規依頼、確認。呼び掛けののぼり旗設置

### 【環境整備部】

- ・ 古紙回収(年3回)、奉仕作業(年2回)

### 【体育保健部】

- ・ ふれあいスポーツ大会 … 保護者同士や教職員とのふれあいを目的に『ビーチバレーボール大会』を開催

### 【母親委員会】

- ・ 新茶を楽しむ会 … 大淵地区で栽培が盛なお茶を新茶の時期に児童がたしなむ。
- ・ 給食試食会 … 保護者を対象に、学校給食の様子を体験する。
- ・ B E N T Oの力 … 子どもが自身の力で弁当をつくり、食に対する意識を高める。
- ・ コサージュ準備 … 卒業生が卒業式につけるコサージュの準備をする。

## 取り組みの効果

1. 有
2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

### 【成人教育部】

- ・ 機関誌を発行することで、P T A活動を全会員に知らせ、広めることができた。また、教育講演会では、狂言師の佐野氏の話を知り、教養を深めることができた。

### 【生活指導部】

- ・ P T A総会、引き渡し訓練の際に旗振り講習会を行い、P T A会員全員が年3回ずつ当番制で登校の見守りを行うことで、みんなで子どもの安全を守る意識ができた。

### 【環境整備部】

- ・ 古紙回収では、会員の家庭だけでなく地域の協力を得て、多くの古紙を回収することができたため、P T A活動費に充てることができた。

### 【体育保健部】

- ・ P T A会員と教職員の多数の参加があり、ふれあいを深めることができた。

### 【母親委員会】

- ・ 栽培が盛なお茶を子どもたちに提供し、お茶の入れ方の手本を示しながら飲んでもらうことで、総合的な学習で取り上げるお茶について課題意識をもつことができた。
- ・ 給食試食会では、配膳や食事の様子を見学したり、給食の意義を栄養士から聞いていただいたりしたことで、保護者の学校給食への理解を深めることができた。
- ・ B E N T Oの力では、子どもたちが自分で弁当を作る活動を通して、栄養のバランスや作る人の気持ちに気付くことができた。

—反省点—

- ▽教育講演会や奉仕作業には多くの保護者が参加したが、会員数に比べるともっと多くの方が参加できると考えられる。より多くの保護者が参加できる方法を考えたい。

—改善案—

- ◇教育講演会の開催日程を早めに連絡すること。また、保護者が聞くだけでなく、子どもと一緒に参加したり、活動したりするなど内容を工夫したい。
- ◇第1回目は親子奉仕作業とし、子どもも一緒に参加している。このことを引き続き行っていくことでより広く奉仕作業の存在を意識させたい。

## 平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立大淵第二小学校 会長名 神尾 勝哉

平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

- ◇環境整備部 P T A奉仕作業（5月・9月）・リサイクル活動（6月・10月・1月）
- ◇生活指導部 通学路の確認 危険箇所マップの作成 かけこみ110番の家の確認
- ◇体育保健部 ふれあいレクリエーション大会（親睦ドッジボール大会）
- ◇成人教育部 わくわく集会への出店 P T A新聞「こぶし」の発行
- ◇家庭教育委員会 給食試食会 持久走記録会終了後の児童に温かいココアの提供  
市P T Aつどい新聞作成
- ◇三校合同 三校連絡会 三校合同講演会
- ◇その他 防災講座及びパッククッキング体験（7月）

取り組みの効果

1. ⑦
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

どのイベントにも、皆さん積極的に参加していただけたと思います。

三役が主体の防災講座は2年目となりました。災害時にどんなことが起こるのかを知ることは、実際に災害が起きた時に落ち着いて行動することにつながると考え、富士市防災危機管理課と赤十字奉仕団から講師を招き、防災講座を行いました。

講座では、ゲーム形式で災害時に役立つものは何か、どうすることが最善なのかを楽しく学ぶことができました。講座後は、パッククッキングを児童と保護者とで体験をし、試食しました。簡単に、しかもおいしくごはんやおかず、デザートまで作れることを学びました。

大変好評で、5年生がみどりの学校で実践したり、夏休みに家庭で実践してみた児童がいたりしました。いつ発生するかわからない災害に向けて、防災知識を高め、今後の生活に役立てるために、継続的に行っていきたいと思いました。

—反省点—

特にありません。

—改善案—

小規模学校で、保護者・児童とも少ないため、今後の各部の活動は減少していくと思われれます。評議会で、行事を厳選し、意義のある楽しいP T A活動となることを期待し、願うところです。

## 平成 29 年度 P T A 活動最終報告

学校名 富士第一小学校 会長名 渡辺 寿美夫

### 平成 29 年度重点活動の具体的取り組み内容

- ・ 学校行事への参加
- ・ 校内クリーン作戦
- ・ 資源回収（年間 10 回）
- ・ 地域かじま祭り（雨天で中止のため準備のみ）
- ・ A E D 講習会

### 取り組みの効果

① 有                    2 無（なぜ効果がでなかったのかを「反省」に記入）

#### — 具体的な効果 —

- ・ 運動会では、こまめに校内の見回りを行い、子どもたちや先生方が、活動に集中できるように支援した。  
前日の場所（応援席）取りでは、混乱がないように、誘導を行った。
- ・ 校内クリーン作戦では、雑草を抜いたり、伸びた木の枝を伐採したりすることで、子どもたちが安全かつ快適に過ごせる環境を整えた。
- ・ 資源回収は、昨年度に引き続き、より多くの皆さんが参加できるように土曜日・学校行事の日程に合わせて 10 回行った。収入を今年度は、学校図書館用図書の購入にあてた。
- ・ A E D 講習会は、午前午後に分けて講習を実施し、より多くの皆さんに、心肺蘇生法の知識を獲得してもらうことができた。

#### — 改善案 —

- ・ 今までと同様に、各行事に対しては、多くの方々が参加しやすい日時、参加したくなる内容になるように検討し計画を立てる。

## 平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士第二小学校 会長名 望月 崇史

---

### 平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ PTA 新聞「けやきひろば」を年2回発行した。「けやきブログ」を随時更新した。
- ・ 学校行事や地区行事への参加及び協力（運動会、地区文化祭、お祭り等）
- ・ PTA 全世帯交代での旗振り活動（通年で毎日実施）
- ・ 地域及び通学路危険箇所への注意喚起看板の設置
- ・ かけこみ 110 番の家の勧誘及び子どもたちへの周知（ワークラリーの実施）
- ・ 年3回の資源回収実施
- ・ 各種イベントの開催（文化講座、給食試食会、餅つき大会）

### 取り組みの効果

1. ① 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

#### －具体的な効果－

- ・ PTA 新聞やけやきブログにより、PTA 活動を周知できた。
- ・ PTA や学校、地域の連携を深めることができた。
- ・ 子どもたちの通学時の安全確保
- ・ 資源回収の収益により教育環境を整備した。
- ・ 親子参加により、学校教育や環境への関心が向上した。

#### －反省点－

- ・ 通学路には、まだまだ危険箇所が点在しており、改善しきれないのが現状である。
- ・ 通学路の見直しや市の道路維持課、警察署等を巻き込んで抜本的な対策を講じたい。

#### －改善案－

- ・ 行政への要望を出すとともに、区長をはじめ地域の方々の知恵をお借りして、子どもたちの安全を確保したい。

## 平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立田子浦小学校 会長名 高橋 香織

平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・校内、校外（地域）との繋がりを深める活動  
…夏祭り・体育祭・文化祭・校内実施のお祭り等
- ・学校生活をより良くする為の奉仕活動や資源集めの活動
- ・子供たちの安全を守る活動（AED・パトロール・誘導・警備）
- ・PTA活動を理解してもらおう為の広報活動やボランティア参加を募る活動

取り組みの効果

1. ① 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

昨年の反省点を生かすようにつとめ、より良い効果のために話し合いを進めた結果、PTA予算の苦しい部分を少しではあるが改善をはかれた。

—反省点—

PTA活動や団体に対して抵抗感を拭い切れるほどの良いアピールが出来きれなかった。活動に従事している方々が大変だけど楽しい、子供の喜ぶ顔が見える等の気持ちがもつと広く伝わって多くの方に携わって貰いたいという気持ちが上手くアピールに繋がらなかったように思う。

—改善案—

忙しい方にもお手伝い出来る状況を作るために、活動の見直しもはかりながら一部の方々の大きな負担を少しでも軽減していきたい。

PTA活動への理解を深めてもらえる様に、笑顔の広報活動を検討中。



## 平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立岩松小学校 会長名 原田 紫野

### 平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ P T Aの活動を知ってもらうために、会報を年2回発行し、P T A活動の記事をなるべく多く載せた。岩松地区の五団体合同教育講演会を開催、P T Aのつどいポスター作成を行った。 【成人教育部】
- ・ 1年間、事故やけがのないよう活動する。学区住民あての古紙・アルミ缶回収のお願いのプリントを、各地区の部員に調整して配付してもらい、回収量を増やすよう努めた。 【環境整備部】
- ・ スポーツ親睦会(ドッジビー)の開催をし、体育指導員のアトム先生をお迎えして親子でできる運動教室を行った。 【体育保健部】
- ・ 毎月1回あいさつ運動を行ったり、1, 4年生の交通教室の手伝いを行ったりした。また、「交通安全を語る会」への参加、「かけこみ110番のいえ」プレート掲示継続のお願いと設置状況報告を行った。 【生活指導部】
- ・ 年2回のベルマーク整理、給食試食会で子どもたちの給食参観と試食、卒業生に贈るコサージュ作りを行った。 【家庭教育委員会】

### 取り組みの効果

- ① 有 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)  
— 具体的な効果 —

- ・ 五団体合同教育講演会への参加を、まちづくりセンター文化祭でちらしを配付して呼び掛けたり、ポスターを貼ってくれる店舗の新規開拓をしたりした。 【成人教育部】
- ・ 毎回、作業の注意点を伝えるようにし、事故やけががなく終えることができた。 【環境整備部】
- ・ 子どもから大人まで楽しく活動でき、児童、保護者、教員の親睦を深められた。 【体育保健部】
- ・ 交通安全や危険個所への意識向上が図れた。 【生活指導部】
- ・ ベルマーク整理で集まったポイントで、学校で必要な物を購入することができた。 【家庭教育委員会】

### — 反省点 —

- ・ P T A会報の発行が年2回のため、掲載記事と写真が小さくなってしまった。 【成人教育部】
- ・ 地域のごみステーションの増加や新聞をとる家の減少、児童減少による協力家庭の減少などで、古紙等の回収量が年々減少している。 【環境整備部】
- ・ 高学年の児童の参加が少なく、チーム分けが少し大変だった。 【体育保健部】
- ・ 「かけこみ110番のいえ」プレート設置個所を増やすための声掛けが足りなかった。 【生活指導部】

### — 改善案 —

- ・ 来年度のP T A会報では、掲載する記事をP T A行事に絞るよう、来年度部長と相談した。 【成人教育部】

- ・もう少し呼び掛けをしたり、役員の意識を変えていったりできるようにする。

【環境整備部】

- ・スポーツ親睦会では、高学年は児童のみの参加を許可するなど、もっと声掛けを増やしていきたい。

【体育保健部】

- ・「かけこみ110番のいえ」プレート設置の呼び掛けを増やしたり、児童や保護者の方々に「かけこみ110番のいえ」について、より知ってもらうために、プリント配付の時期を考えたりしたい。

【生活指導部】

## 平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立鷹岡小学校 会長名 植松 貞治

平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

- P T A総会の運営 4/22
- 親子で確認！かけこみ110番のいえ（5/16）
- 運動会への協力 6/3
- インディアカ、ファミリーバドミントン（通年）
- 総合防災訓練への協力 9/1
- 資源回収（年3回）
- 県下一斉補導（7/15、12/16）
- 親子奉仕作業（7/3）
- 3校合同事業（昆虫教室）7/15（天間小）
- 校内防犯パトロール（授業参観）
- P T Aバザー（12/2）
- 通学路点検（通年）
- 校内夏季夜間パトロール
- 子育て研修会味噌づくり（9/27）
- 交通安全を語る会への参加
- 給食試食会（11/9）
- コサージュ作り（3/3）

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

— 具体的な効果 —

- 親子で確認！かけこみ110番のいえでは、学校の引き取り訓練に合わせて実施したので、親子で通学路を歩きながら、かけこみ110番のいえの場所を確認したので、保護者は危険箇所を確認し、子どもは防犯意識が高まった。
- インディアカ、ファミリーバドミントンは会員同士の親睦が深まった。
- 総合防災訓練への協力では、各地区の区長さんはじめ役員さんと児童・保護者が顔を合わせることができ、地区ごとの結びつきが強くなった。各地区の区長さんから、今後も続けてほしいという感想が得られた。
- 親子奉仕作業では、親子で汗を流しながらの作業で、普段子どもだけではできない場所がとてもきれいになり、子どもが毎日気持ちよく生活できる環境整備ができた。

— 反省点 —

- 学校の避難訓練の後、各地区の防災訓練に参加したので、地区によっては、訓練が終わってしまっていたところもあった。
- 親子で確認！かけこみ110番のいえは、初めての実施であったため、徹底しない面があり、学校を出発するのに手間取った。

— 改善案 —

- 総合防災訓練、地域の防災訓練への参加を先にして、終了後に児童が登校するようにして、地域との連携を深めていく。
- 親子で確認！かけこみ110番のいえは、今年度の反省を生かしてスムーズな運営ができるようにする。

## 平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立広見小学校 会長名 田中 博道

平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ① P T A新聞（号外を含む）による P T A活動の啓蒙
- ② 地域への恩返しの活動

取り組みの効果

1.  有
2.  無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

— 具体的な効果 —

① P T A活動とは、児童生徒の健全な成長を図ることを目的とし、親と教師とが協力して行うものであることを、多くの保護者に理解してもらうために、P T Aが主催する活動を中心に P T A新聞に掲載した。運動会前と秋の2回の奉仕作業では、普段子どもたちではできないような場所をきれいにしたり、茂った木や雑草を刈ったりする様子を記事にした。また、年3回の古紙回収では、アルミ缶や古紙の回収による重さも掲載した。それだけではなく、7月の「お化け屋敷」や2月の「紙ヒコーキ大会」などの催しで、子どもたちがとても楽しんでいる姿も取り上げ、P T A活動の参加への感謝や P T A活動の必要性を伝えることができた。

② P T Aとして学校の事業だけでなく地域の団体との交流や事業に参加することにより、学校だけでなく地域の方たちとの交流、住んでいる町内の防犯等の現状などの情報を皆で共有することができた。

— 反省点 —

— 改善案 —

- ① 成人教育部の中で、記事にする行事をあらかじめ割り振り、負担を軽減できるようにしていきたい。
- ② 役員の中でも温度差があり、何故参画しているのか、参画する必要性を理解していただけるよう、対策を考える。次年度以降も引き続き取り組む。

## 平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立丘小学校 会長名 長澤 謙

---

### 平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ◎「親子で楽しく、一緒に参加するP T A活動」を目指し、親子で楽しめる活動を企画・運営をした。また、それぞれの活動が、P T A会員同士の交流を深める場となることをめざした。
  - 丘地区さくら祭や丘地区文化祭など、地域の行事への参加（執行部）  
丘地区の行事である「丘地区さくらまつり」や「丘地区文化祭」において、P T A主催の模擬店を出店。
  - かけこみ110番ウォークラリー（生活指導部）  
学校の避難訓練終了後に、引き取り訓練と合わせて、親子で通学路の危険箇所やかけこみ110番の家の確認をした。
  - 朝の交通安全（旗振り）指導（生活指導部）  
毎月、1日と15日を基本に、月2回、各町内の生活指導部員で当番を決め、登校時の交通安全指導を行った。
  - 親子奉仕作業（環境整備部）  
保護者、児童、教職員が参加し、運動場遊具のペンキ塗り、側溝清掃、草取り、校舎内トイレの清掃を行った。
  - 親子スポーツ教室（体育保健部）  
第1回親子スポーツ教室……ドッジビー大会 開催  
第2回親子スポーツ教室……キンボール大会 開催
  - 親子A E D講習会（体育保健部）  
富士西消防署鷹岡分署より講師を招き、「A E D講習会」を開催した。
  - 親子学習教室「丘小サイエンス」（成人教育部）  
「科学に興味を持つ子供が増えてほしい」、そんな願いから「第5回丘小サイエンス」を開催した。
  - P T A新聞発行（成人教育部）  
P T A活動の広報と、学校行事の紹介のため、成人教育部で取材、編集・構成をして、P T A新聞『丘の泉』を年3回発行した。
  - 卒業生コサージュ作り（家庭教育部）  
10月4日と6日の二日間、家庭教育部員と有志で、卒業生のコサージュ作りを行った。

### 取り組みの効果

1.  有      2.  無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

#### －具体的な効果－

- 丘地区さくら祭や丘地区文化祭など、地域の行事への参加  
P T A活動をPRするコーナーやお店を出店することにより、子どもたちだけでなく、地域の人々にも丘小P T A活動の実践内容を伝えることができた。
- かけこみ110番ウォークラリー

通学路を親子で一緒に歩くことにより、かけこみ 110 番の家や通学路の危険個所を確認することができた。また、子どもたちにも、いざという時は、「自分の身は自分で守る。」という意識をもって行動してほしいことを伝えることができた。

#### ○親子奉仕作業

親子で協力し合いながら作業をすることにより、約 2 時間の作業で、子どもたちが気持ちよく生活できる学校環境が整った。親子が一緒に作業することを通して、触れ合う場になった。

#### ○親子スポーツ教室 〈第 1 回「ドッジビー大会」 第 2 回「キンボール大会」〉

・ドッジビー大会は、子どもから大人まで 129 名の参加があり、楽しく試合をすることができた。ドッジビーは低学年の子どもから大人まで、みんなが楽しく参加できるスポーツで、参加者からも好評であった。

・キンボール大会は、昨年度よりも多い 80 名の親子が参加した。チームの仲間や親子で作戦を練ったり、協力し合ったりして試合に臨む姿が見られ、大変盛り上がった。キンボールを通して、PTA 会員同士の交流も深めることができた。

#### ○親子学習教室 「丘小サイエンス」

会場である体育館には、ふきごま・傘袋ロケット・葉脈作り・針金アメンボ・スライム・バランストンボ・昆虫触れ合いコーナーなどのブースが設置され、子どもたちは楽しみながらいろいろな体験をすることができた。今年は、165 名の親子が参加した。毎年、この「丘小サイエンス」を楽しみにして、参加している親子も多く見られた。

#### ○親子 AED 講習会

倒れている人を発見した場合の対処法、意識障害や呼吸・心臓停止となっていたときの心肺蘇生法や AED の使用方法などを、親子で実践を交えながら学ぶことができた。

#### ○朝の交通安全指導

校区には、交通量の多い交差点や横断歩道も多いので、朝の旗振り指導を行うことにより、子どもたちが安全に登校でき、また、あいさつを通して、子どもと触れ合うことができた。

#### ○PTA 新聞の発行

PTA 新聞を通して、PTA 各専門部の活動の様子や学校行事での子どもの様子等を伝えることができた。

#### ○卒業生コサージュ作り（家庭教育部）

素敵な卒業式になるように、参加者が一つ一つ気持ちを込めて丁寧に手作りをしてくれた。6 年生の名札のカラーであるオレンジ色を使ったバラ色の愛情たっぷりのコサージュができあがった。みんなでコサージュを作ることにより、参加者同士の交流も深めることができた。

#### －反省点－

・来年度も親子で楽しみながら運動したり、学習したりできる活動を継続していき、丘小の PTA 活動を盛り上げていきたい。

#### －改善案－

・親子で参加する活動については、比較的到低学年の児童の参加が多いので、高学年の児童が多く参加できるような活動内容を検討し、実施していきたい。

## 平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 富士見台小学校 会長名 鈴木 智子

### 平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

#### 環境整備部

- ① 保護者・児童・地域のサポーターによる「第1回 親子ふれあい奉仕作業」
- ② 授業参観後に行った校舎内清掃の「第2回 親子ふれあい奉仕作業」

#### 取り組みの効果

1. **有**
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

#### —具体的な効果—

- ・地域のサポーターが新たに加わり、清掃場所が広がった。
- ・サポーターの方々に専用のベストを着ていただくことにより、本校が取り組んでいる「未来の学校『夢』プロジェクト」の取組について発信する機会となった。
- ・地域のサポーターが加わったことにより、保護者も参加率を上げなければという思いが高まった。

#### —反省点—

- ・地域のサポーターの作業場所を単独で割り当てたので、保護者や児童との交流があまり図られなかった。
- ・トイレ清掃の人数割り当てが少なかったので時間内に終わらない保護者がいた。
- ・校舎内の奉仕作業は土曜日の午前中に行ったが、その後に1時間授業を入れていたので、「子どもと一緒に帰りたかった。」という保護者が多かった。

#### —改善案—

- ・地域のサポーターが保護者や児童と一緒に作業できるように、割り当てを工夫する。
- ・授業参観後の奉仕作業は、子どもと一緒に帰ることができるよう、計画を組んでもらう。
- ・「2回の奉仕作業のうち、必ず1回は参加していただく」ことを、PTA総会で役員が保護者に呼びかける。

## 平成 29 年度 P T A 活動最終報告

学校名 富士市立富士南小学校 会長名 光 内 正 道

### 平成 29 年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・成人教育部 ききょう新聞発行（年 2 回）  
三校合同イベント（思いやりのこころを育てよう～認知症ってなあに？）
- ・生活指導部 交通安全街頭指導（年 4 回）  
1 年生交通安全教室 4 年生自転車教室への協力
- ・環境整備部 奉仕作業主催 古紙回収（年 2 回） 6 年生親子奉仕作業
- ・体育保健部 運動会準備・協力 三校合同球技大会（幹事校） 持久走大会協力
- ・母親研修部 給食試食会 P T A バザー主催 卒業式コサージュ作り
- ・父親クラブ 奉仕作業協力 親子体験教室
- ・そ の 他 富士南小学校創立 40 周年記念式典協力

### 取り組みの効果

1.  2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

#### －具体的な効果－

- ・成人教育部 3 校合同イベントでは、劇や講座を通して認知症について学ぶことができた。高齢者疑似体験、昔遊び体験コーナーを設けることで 3 世代の交流ができた。
- ・生活指導部 交通安全街頭指導、理事パトロールなどはほぼ計画どおりにできた。通学時の危険箇所アンケートを実施し、「危険箇所マップ」を作成した。
- ・環境整備部 奉仕作業（2 回）ではけが人もなく、参加者で協力して学校内外をきれいにすることができた。
- ・体育保健部 三校合同球技大会では、けが人もなく三校の保護者、教員とが交流を深めることができた。
- ・母親研修部 P T A バザーへの品物提供が増え、大盛況に終わった。給食試食会も大好評であった。
- ・父親クラブ 「学校のかいだん」は、参加応募数を超える多くの子どもたちが参加予定だったが、悪天候のため中止となった。
- ・そ の 他 富士南小学校創立 40 周年記念として、航空写真の撮影、写真を利用した記念品クリアファイルの配付、子どものデザインによる投てき板の塗り替え、富士南地区の発展を振り返る講演開催に協力した。地域の代表、保護者の代表、児童、職員とで盛大に祝うことができた。

#### －反省点－

- ・三校合同イベント、40 周年記念式典と講座や講演の内容が子どもには少し難しかった。
- ・「学校のかいだん」は、計画、準備を進めてきたのに予備日をとっていなかったため、中止を余儀なくされた。

#### －改善案－

- ・参加者の誰もが楽しめるように、イベントの目的と参加者、特に子どもの実態を考慮した活動を計画、実践していく。
- ・「学校のかいだん」については、予備日を設けて、中止にならないように取り組む。



# 平成29年度 PTA 活動報告

学校名 富士市立天間小学校

会長名

望月 徹

平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

各部活動の見直しを行い、「活動のさらなる充実」「先生方、PTA 役員の負担の低減」「活動参加者を増やす」「誰でもできる活動」を目指した。

## 1. 米作り・収穫祭（環境整備部）

- ・地域から学校主体へと変更
- ・活動を休日から平日へ変更
- ・PTA 会員より協力員を募集
- ・収穫祭を学校行事「天間っ子フェスティバル」と同日開催に変更

## 2. 親子奉仕作業（環境整備部）

- ・「授業参観日」「親子奉仕作業」「かけこみ 110 番ウォークラリー」を同日開催に変更

## 3. かけこみ 110 番ウォークラリー（生活指導部）

- ・「授業参観日」「親子奉仕作業」「かけこみ 110 番ウォークラリー」を同日開催に変更

## 4. 三校合同事業「昆虫教室」の実施（成人教育部）

- ・当番校として計画、実行した。

## 5. コサージュ（家庭教育委員）

- ・既製品からキットタイプに変更

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったかを－反省点－に記入）

－具体的な効果－

1. 活動を学校主体、授業の一環に変更し、全児童が米作りに参加し全工程を体験できるようになり本当の米作りの楽しさ、大変さを学ぶ事ができた。休日の活動を減らしたこと、協力員を募ったことにより、先生方、PTA 役員の負担を減らすことができた。  
収穫祭では、フェスティバルと同日開催にしたことで、全児童が参加できるようになった。また、休日の活動を減らすことができ、先生方、PTA 役員の負担を減らすことができた。
2. 同日開催にすることで参加人数が増え、親子で協力し合い楽しく奉仕作業ができるようになった。
3. 保護者と児童と一緒に 110 番の家の確認、通学路の危険な場所を確認ができるようになった。  
授業参観と 2.3 を同日開催にし、休日の活動を減らし先生方、PTA 役員の負担を減らすことができた。
4. 昆虫教室を実施し、子どもたちの笑顔を見ることができ、笑い声をたくさん聞くことができた。また、6 月に実施したため熱中症にも十分注意した。
5. キットタイプに変更し 6 年生保護者にコサージュを作ってもらうようにした。子どもの成長を喜び卒業を祝うと共に、保護者の意見交換の場となった。

－反省点－

収穫祭

- ・フェスティバルと同時開催日にすることで、地域の方と子どもたちとの交流が減ってしまった。
- ・PTA 役員、協力員がフェスティバルを見に行く時間が減ってしまった。（前後半で分かれて見る予定だった）
- ・子どもたちが食べるお餅の量を決めてしまった。たくさん食べてもらいたかった。
- ・つきたての温かいお餅を食べさせることができなかった。

－改善案－

- ・フェスティバルと収穫祭のタイムスケジュールを検討することで、自由に地域の方との交流ができ、お餅を食べる時間を増やすようにする。

## 平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立岩松北小学校 会長名 植松 弘毅

---

平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

### 【岩松北小 P T A】

- ・PTA 親と子のつどい～本校独自の PTA 活動  
役員各部、岩松中 PTA、ジュニアリーダー、児童クラブ、特別支援学級が出店し、親と子の親睦を図った。4年生児童の合唱発表も行った。

### 【三役】

梅まつりでの出店

### 【成人教育部】

- ・「地域が育てる岩松の子どもたちの会」協力
- ・年2回「会報いわもと」発行

### 【環境整備部】

- ・奉仕作業
- ・年3回古紙回収

### 【体育保健部】

- ・スポーツ親睦会「ドッジビー」
- ・チャレンジランニング大会への協力 運動会は延期のため、協力なし

### 【生活指導部】

- ・かけこみ110番プレート点検・協力依頼
- ・校区パトロール
- ・かりがねまつり、実相寺お会式街頭指導
- ・生徒指導主任によるスマホの安全な扱い方についての研修会

### 【家庭教育部】

- ・PTA 給食試食会の実施

### 取り組みの効果

1. 有
  2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
- 具体的な効果—

- ・「親と子のつどい」では、マスのつかみ取りやリース作りなどの体験型の店において、子どもたちと保護者が楽しく活動したり、模擬店で PTA 役員と教員が共に店の運営にあたりたりと、たくさんのふれあいができた。体育館では、バザーを開くことができ、大盛況だった。また、参加した子どもや保護者にアンケートをとることで、役員の達成感につながり、来年度に向けての改善点を見つけることもできた。

### 【成人教育部】

- ・PTA 広報誌「会報いわもと」において、各部で行われている PTA 活動の様子を伝えた。PTA 行事に参加できない家庭にも、活動の様子を伝えることができた。

### 【環境整備部】

- ・トイレ掃除をはじめ、階段の汚れ落としなど、普段の子どもたちの清掃では行き届かない部分の清掃を行っていただくことができた。暑い中、校舎外の植木の剪定や草取りも行っていただいた。保護者・子ども・教職員が共に清掃し、学校がきれいになるありがたい作業だった。
- ・古紙回収では、年々回収量が少なくなっているが、これまで古紙回収を行ってこなかった地区にも古紙回収の日程や収益について回覧板でお知らせをした。この取り組みによって、協力をしてくださる地域の方が増えた。また、第2回古紙回収から収益を上げるためにアルミ缶回収を試みた。

### 【体育保健部】

- ・低学年の子供から大人まで一緒に楽しめる「ドッジビー」を実施した。教員も多く参加し、さわやかな汗を流すことができた。

### 【生活指導部】

- ・子どもの安全のために、かけこみ 110 番の整備や校区内パトロール等を行ってくださった。校区の危険箇所の調査を行う中で、パトロールで設置している看板の修理を行い、地域からも喜ばれた。  
また、各地区でPTA会員が横断歩道等に旗振り当番として立つことで登校中の子どもの安全が守られた。

### 【家庭教育部】

- ・本校の栄養教諭をから学校給食の話の聞いたり、子どもたちの給食の配膳の様子や食事の様子を参観したりした。実際に子どもと同じ給食を食べることで、学校給食に対する信頼が深まった。

☆三役とPTA役員が協力体制を組めるよう、理事会においては、地区のPTA理事から意見を多く吸い上げ、改善に向けての話し合いを行うことができた。

#### ー反省点ー

- ・古紙回収に参加していない地区、参加していても回収がなされていない地区、また子ども会任せになり、子ども会に入っていないPTA会員は参加していない地区があるという問題が浮き彫りになった。古紙回収の取り組み方が地区によってばらばらであるため、回収量も伸びない。旗振り当番の活動も同様である。

#### ー改善案ー

- ・PTA活動は全PTA会員の協力によって成り立つということを、PTA総会で改めて確認していく。
- ・PTA理事会や役員会の中でPTA理事や各専門部員の意見を多く取り入れたり、他校の取り組みも参考にしながら、PTA活動の内容や取り組み方をもう一度見直すことが必要である。

## 平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 富士中央小学校 会長名 金刺 哲弥

### 平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

昨年、平成29年度に3年役選出について従来の各ブロックよりの選出方法から新3年生の保護者より選出を行う方法に会則の変更を行いました。

立候補を早めの段階で行うと同時に事前に P T A 活動の P R を行ったため合計6名の応募があり、体育保健部3名、生活指導部1名、成人教育部1名環境整備部1名の応募があった。その後、応募者の皆様に集まってお話し合いを行いました。

複数応募があった体育保健部の皆様には話し合いの結果、1名は立候補より辞退していただき、1名は平成31年度の体育保健部の副部長として確約の話をさせていただきました。これで平成30年度の3年役すべての部4名の副部長が立候補により決まりました。

### 取り組みの効果

1. 有
  2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
- 具体的な効果 —

平成29年度の3年役選出会則の変更を行ったことにより平成30年度のすべての副部長が立候補により決まりました。

3年役選出による、各地区の負担の減少になりスムーズな選出ができました。

### — 反省点 —

初めての取り組みの為、すべての部が立候補により選出できたが、希望専門部において体育保健部のみ3名の立候補者がいたため1名は辞退していただき、1名は31年度の確約をさせていただきました。

### — 改善案 —

次年度以降も立候補者による希望専門部への複数名の応募がある可能性が予想される為、立候補者との話し合いを行いスムーズな決定をしていく必要がある。

## 平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 青葉台小学校 会長名 藤 田 卓 志

### 平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

開校20周年の節目の年として、専門部の活動も20周年を記念する取り組みとなるよう計画した。

家庭教育委員会主催による、新1年生保護者対象の給食試食会を、20年前の開校当時のメニューで行う「20周年記念ランチ試食会」とし、家庭教育委員会と学校栄養士との事前準備で実現させることができた。また、環境整備部主催の資源回収でも、回収率20%アップを目標として計画した。さらに20周年記念の一環として、環境整備部は通学路のプレートを更新する活動に取り組み、錆びにくいアルミ製のプレートを作成し、年度内には更新できる予定である。

開校とともに「青葉台地区」としても20周年を迎えるため、P T A専門部に「20周年記念実行委員会」を臨時に設け、地域とのパイプ役とした。学校と地域の共催による「20周年記念式典」の準備では、学校や地域の航空写真と、全校児童集合写真を撮影し、記念クリアファイルを作成して全保護者に配布した。またP T A新聞の臨時号を発行して、20周年を祝った。式典では、開校当時小学生で、現在は保護者となっているP T A会員の方から、開校当時の思い出を語っていただいたり、児童の合唱に乗せて青葉台の20周年を振り返るスライドを上映したりして、20周年を祝った。

### 取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

各活動を20周年と絡めることで、P T Aとして学校及び地区の20周年を祝う雰囲気盛り上げることができた。また通学路プレートの作成には、P T A 役員の総力をもってデザインや材料を工夫することができた。今まで以上に役員のチームとしての力を発揮できた1年であった。今年度の活動を生かして、次年度においても、役員のチーム力が発揮しやすいP T A 組織でありたいと考える。

また吉原二中・今泉小との合同事業も幹事校の年であったため、3校の連携が図れる活動を考える良い機会であった。合同イベントには、吉原工業高校にご協力をいただいて活動できたことも、地域の輪を少しずつ広げる活動になれたと考える。自校 P T A 会員の輪を大切にしつつ、他校 P T A との輪も無理のない範囲で広げていく大切さを感じることができた。

—反省点—

「保護者と先生みんなが青葉台の子を応援する」P T A であり続けたいので、引き続き、諸活動の精選と活動内容の工夫に力を注いでいきたい。地区行事や中学校 P T A の活動が重なりやすい月の活動を見直したり、参加したいと思えるアイデアを出したりして、「参加してよかった」「子どもたちのためになっているんだ」と感じられる P T A 活動を、今後とも目指していきたい。

## 平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 富士川第一小学校 会長名 小池雅記

### 平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

#### ・ふれあいフェスタ

地域を巻き込んで、全校児童・保護者・地域が一同に集まって行う行事である。

内容は、体育館内での有志・クラブ・部活動の発表の場や文化的なプレゼン。そしてバザーが行われた。本年度も富士川第一中学校 PTA が参加した。中学校の制服や体操服・ジャージ等のバザーで出店してもらい、とても好評であった。

#### 取り組みの効果

1. (有)
2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

#### －具体的な効果－

各部単独の活動ではなく、本校 PTA 全体の活動であったため、多数の参加者があった。さらに地域や中学校との連携もあり、有意義な活動となった。また、各部の部長や副部長らが協力しあうことで、役員同士のつながりが強まった。この場をきっかけに次年度の役員の橋渡しの場となった。

#### －反省点－

当日の天候で左右する内容なので、雨天時の対応がしっかりとしていないとばたばたと混乱してしまう。

電源の確保や人の流れの滞りなどの反省点があった。バザーが終わってしまうと人が閑散としてしまい内容の時間帯も考慮する必要を感じた。

#### －改善案－

上記のとおり

## 平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 富士川第二小学校 会長名 上野 英樹

平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ① 親子自転車教室
- ② 「かけこみ110番の家」の登録依頼
- ③ 通学路点検・自転車点検
- ④ 親子科学遊び(富士川二中 P T A の協力)
- ⑤ 普通救命救急講習会・プール開放の監視協力
- ⑥ 登校時における交通指導
- ⑦ 奉仕活動(草取り・高所窓拭き・ペンキ塗り等)

取り組みの効果

1. ⑦
2. 無(なぜ効果がでなかったのかを-反省点-に記入)

—具体的な効果—

- ① 主に低学年に交通ルールを周知できた。
- ② 地域の協力を得て、登下校中の安全を確保できた。
- ③ 通学路の危険箇所を確認し、関係各所に改善を依頼し対処してもらった。
- ④ 二中 P T A と協力し、親子で科学の不思議を体験した。
- ⑤ 奉仕活動により、児童達の手の届かない部分の整備・補修ができ、地域主催のイベントに協力できた。

—反省点—

- ・ P T A 活動を通じて保護者同士の交流をもっと深めたい。
- ・ 科学遊びのような、児童達の好奇心を煽るようなイベントを増やしたい
- ・ かけこみ110番の家を確認するイベントを実行したかったが、雨天中止になった。(3年連続)

—改善案—

- ・ 各事業の改善点や良かった点などから見直しを行い、今後の活動につなげられるようにしたい。